

令和8年度

小・中学生フォーラム in 落合第三小学校



新宿区では、毎年、小・中学生と区長が意見を交換する「小・中学生フォーラム」を開催しています。このフォーラムの目的は、区の施策の参考に子どもたちの意見を取り入れるとともに、子ども自身が新宿のまちに関心と愛着を持ち、区政に積極的に参加することとなっています。

6月30日（火）、落合第三小学校（西落合1-12-20、校長：宇山幸宏）の6年生1組27名、2組28名が、「西落合の活性化について」をテーマに、吉住健一区長と意見交換をしました。

児童たちは、3年生の時から総合的な学習の時間で自分たちの住んでいる落合地域について学習しており、今回のフォーラムでは、5年生の時に取り組んだ、地域の銭湯「栄湯」を活性化させるためのプロジェクトについて発表してくれました。活性化のためにはマナーの良い利用客を増やすことが課題であるとして、絵本や動画、オリジナルキャラクターを作成し、利用客のマナー向上に向けて啓発を行いました。その結果、「栄湯」の利用客やSNSのフォロワーを増やすことができたそうです。

現在、6年生となった児童たちは、西落合の活性化のために、豆腐店の「土佐屋」や、かつて「トキワ荘」に住んでいた漫画家「赤塚不二夫」について、総合的な学習の時間で調べているところです。今回のフォーラムでは、「栄湯」活性化のプロジェクトを踏まえ、「西落合が活性化するためには何が必要か」「活性化とは具体的にどのような状態か」について、区長と白熱した議論を交わしていました。

区長は、「地元の残していきたいお店・サービス、そういうものは、みんなになるべく使ってもらうと、ずっと残ってこのまちの良さを保つことができるので、今後も活性化について考え、自分たちができることを行ってもらいたい。」と話しました。今後の学習につながる、有意義なフォーラムとなりました。

